

飛び立とう！熊本から世界へ



海外進学

Chance
【チャンス】

Challenge
【チャレンジ】








Change
【チェンジ】





INDEX

社会人

- 01 彌富 敏宏さん  03
 出身高校 熊本マリスト学園高等学校
 進学先 スカジット・バレー・カレッジ
 ニューヨーク州立大学ビンガムトン校
 現在 株式会社セールスフォース・ジャパン
- 02 伊藤 満理奈さん  05
 出身高校 熊本中央高等学校
 進学先 ハーキマー・カウンティ・コミュニティカレッジ
 ジョンソン&ウェールズ大学
 現在 マンパワー株式会社(勤務地:楽天グループ本社)
- 03 北原 美乃里さん  07
 出身高校 熊本第一高等学校
 進学先 ワシントン大学
 現在 平田機工株式会社
- 04 興津 絵美さん  09
 出身高校 熊本学園大学付属高等学校
 進学先 州立モンタナ大学
 現在 環境省
- 05 森本 優貴美さん  11
 出身高校 熊本高等学校
 進学先 マサチューセッツ工科大学
 現在 マイクロンメモリジャパン株式会社
- 06 田中 亮伍さん  13
 出身高校 文徳高等学校
 進学先 クインシー・カレッジ
 現在 ZIM:PROSHOP
- 07 多田 隈 夏実さん  15
 出身高校 玉名高等学校
 進学先 プリティッシュコロンビア大学
 現在 カナダのメーカー

在学生

- 01 成松 紀佳さん  17
 出身高校 宇土高等学校
 進学先 ミネルバ大学
 ライデン大学(修士課程)
 - 02 高井 万弥さん  19
 出身高校 熊本高等学校
 進学先 ショーシア工科大学
 ハーバード大学デザイン大学院
 - 03 黄 允珠さん  21
 出身高校 九州学院高等学校
 進学先 スタンフォード大学
 - 04 田中 光さん  23
 出身高校 玉名高等学校
 進学先 トロント大学
 - 05 永松 由沙貴さん  25
 出身高校 専修大学熊本玉名高等学校
 進学先 TAFEの付属語学学校「English Language Centre」
 キャンベラ大学
 - 06 本山 純奈さん  27
 出身高校 八代高等学校
 進学先 プリティッシュコロンビア大学
 - 07 吉野 泰生さん  29
 出身高校 宇土高等学校
 進学先 カリフォルニア大学サンディエゴ校
 - 08 相場 和音さん  31
 出身高校 尚綱高等学校
 進学先 ベイラー大学
- 夢の実現への第一歩 33・34
 海外進学ロードマップ

はじめに

グローバル化が急速に進展する現代。令和5年(2023年)6月、国は、新たな教育振興基本計画を策定しました。この計画には5つの基本方針が示され、その1つとして「グローバル化する社会の持続可能な発展に向けて学び続ける人材の育成」が掲げられています。

確かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、積極性、異文化理解の精神などを身に付けたグローバル人材がこれまで以上に、さまざまな分野・場面で必要とされています。

本県においても、半導体産業を軸とした産業の活性化や、海外からの観光客の増加など、国際社会との関わりがますます活発となっており、将来を見据えたグローバル人材の育成が求められています。

このような状況を踏まえ、県では中高生の海外進学を目指すきっかけや進路決定への後押しとなるように、ロールモデル集を制作し、広く情報提供を行うこととしました。

本書を通して、より多くの中高生が海外進学者の経験談にふれ、自らの進路選択の幅を広げていただくことを期待しています。

熊本県



株式会社
セールスフォース・ジャパン
YATOMI TOSHIHIRO
彌富 敏宏さん

Profile

- ・2014年 熊本マリスト学園高等学校卒業
- ・2016年 アメリカ スカジット・バレー・カレッジ ビジネス学部卒業
- ・2018年 ニューヨーク州立大学ビンガムトン校ビジネス学部 経営情報システム学科卒業、帰国
- ・2018年 EYアドバイザー・アンド・コンサルティング株式会社入社
- ・2021年 フェンダー・ミュージック株式会社入社
- ・2023年 株式会社セールスフォース・ジャパン入社



海外生活で培った
自分の興味を尊重し
チャレンジする精神

2021年に入社したフェンダー・ミュージック株式会社のオフィスにて

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

中学生の頃に海外の文化や洋楽に興味を持ち始め、将来は大学で音楽ビジネスを勉強したいと考えていました。しかし日本には音楽ビジネスを専攻できる大学が少なかったため、高校2年生の時にエンターテインメント産業の中心であるアメリカで勉強をしたいと考えようになりました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

英語の学習はもちろん、両親の勧めもあり、留学手続き(留学ビザ申請やESTA申請、進学先とのやりとりなど)を可能な限り自分でチャレンジしたことは、その後の留学生活に大変役立ったと感じています。また、日本にいる間に進学先の日本人学生にコンタクトし、事前に留学生活や学校の様子を知れたことは、人生で初めての海外生活への不

安を和らげてくれました。

Challenge [チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

人前に出ることや自分の意見を伝えることが苦手でしたが、海外進学を通して、自分の興味や挑戦したいことを尊重し、失敗を恐れずチャレンジすることの重要性を学びました。これは社会人になった今でも、物事を判断する際の自分の軸となっています。

現在は株式会社セールスフォース・ジャパン(東京都)で人事オペレーション業務(人事関連の問い合わせ対応やデータ分析、人事プロセス改善など)に携わっています。今後はAIを含む新たなテクノロジーの知見を広げつつ、それらを活用した新しい人事オペレーションの仕組み作りに貢献していきたいと考えています。

もっと知りたい! 海外進学 Q&A



Q1 海外進学が自分に与えた影響は?

高校卒業後に進学したスカジット・バレー・カレッジでは、卒業生の大半が4年制大学へ編入していたため、将来のキャリアについて考える機会はあまりありませんでした。一方で、ニューヨーク州立大学ビンガムトン校に編入後は、周りに投資銀行や会計事務所でのインターンシップを経験したり、全米ビジネスケースコンペティションに入賞したりする優秀な学生を目の当たりにし、将来を真剣に考える機会となりました。

Q2 大学生活の中で注力したことは

現地に慣れ親しめるよう自ら進んで行動しました。スカジット・バレー・カレッジでは、学内で留学生向け英語クラスの教授助手のアルバイトを経験し、クラスのディスカッションのサポートやエッセイの添削を通して留学生のサポートに積極的に携わりました。ニューヨーク州立大学ビンガムトン校では、日本人学生会の「Japanese Association」に加入し、会長として組織をまとめる傍ら、日本に興味のある学生に向けた日本文化イベントや、ネイティブスピーカー同士がそれぞれの言語を学び合う「Language Exchange」のアクティビティの実施に関わりました。



スカジット・バレー・カレッジのあるマウントバーノンで開催されたチューリップフェスティバルの様子



ニューヨーク州立大学ビンガムトン校の卒業写真

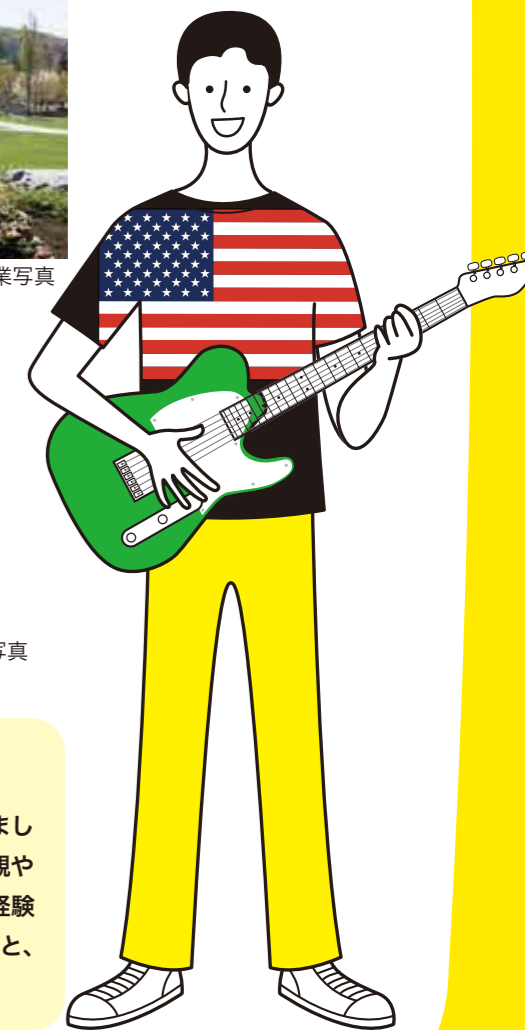


日本文化交流会のイベント後の集合写真

後輩へのメッセージ

自分の得意や興味が見つかるはず!

海外留学は私の人生の中で大きな転換期となりました。留学中は苦労や困難もありましたが、自分の得意や興味を見つけられただけでなく、世界中に大切な友人ができ、価値観や視野を大きく変えるきっかけを作ってくれました。留学の機会があれば、ぜひ今まで経験したことのない多くのことにチャレンジしてもらいたいと思います。そうすればきっと、まだ自分が気付いていない「新たな自分の可能性」を見つけることができますよ!



Profile

- ・2014年 熊本中央高等学校卒業
- ・2016年 アメリカ ハーキマー・カウンティ・コミュニティカレッジ
トラベル& イベントマネジメント学科卒業
- ・2018年 アメリカ ジョンソン& ウェールズ大学
ホテルマネジメント学部卒業、帰国
マンダリン・オリエンタル東京株式会社入社
- ・2023年 マンパワー株式会社入社 (勤務地: 楽天グループ本社)



もっと知りたい! 海外進学 Q&A



Q1 海外進学に向けて準備したことは?

英語です。海外チャレンジ塾で週に1回開催されるTOEFL講座に初めて参加した時は全く理解できず、悔しくて最初の1時間後の休憩の際に涙を流しました。同塾の下級生の方が英語力が高く、悔しいけれどもクラスでなかなか発言できずに苦戦しましたが、渡米後にとっても役立ちました。

Q2 どんな課外活動をしていましたか?

ハーキマー・カウンティ・コミュニティカレッジでは、寮生活だったので、卒業前の最後の学期に寮長を務めました。定期的に学生が楽しめるイベントを企画・運営し、寮生が安心して生活できるようサポートしました。ジョンソン&ウェールズ大学へ留学して1年目はすごく不安を感じていました。だからこそ2年生のときは、新入留学生のためのオリエンテーションリーダーを担当。最終日に「楽しかった。ありがとう」とグループメンバーに言ってもらえたことは今でも覚えています。自信がなくても不安でもやって良かったと思いました。



仕事にも役立つ
柔軟な考え方に触れ
人生がもっと豊かに

勤務先の楽天グループ本社にて



ジョンソン&ウェールズ大学では寮の留学生オリエンテーションリーダーを務めました



マンダリン・オリエンタル東京株式会社に勤務していた頃の様子 (右)

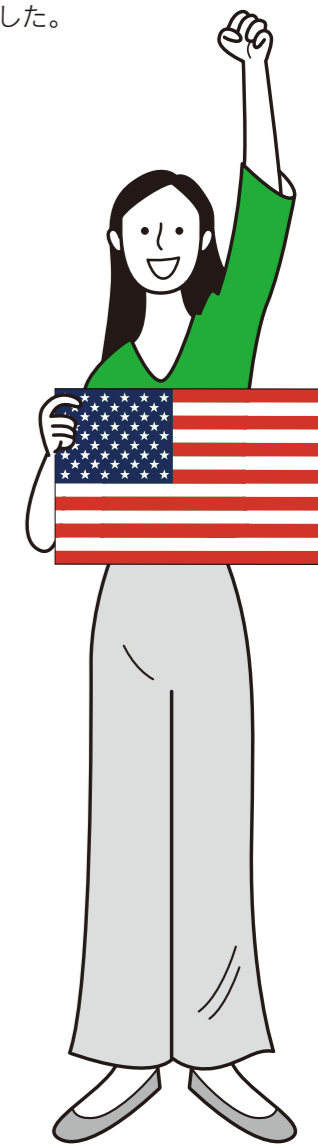


ハーキマー・カウンティ・コミュニティカレッジの卒業式 (右から2番目)

先輩へのメッセージ

自分の気持ちに素直に行動を

とにかく今を楽しんでほしい。やりたい、気になる、行ってみたいという気持ちに正直に行動してほしい。海外でも日本でも、今その時にしか経験できないこと、出会えない人がいる。海外での経験は、思考を柔軟にし、いろいろなことを吸収できるなど、自分の成長につながります。とにかく今しかできないことにどんどん挑戦していきましょう。応援しています! 自分はなんでもできると信じていきましょう。



Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

高校2年生の頃、教会の英会話教室でアメリカの宣教師と出会い、海外進学を検討するようになりました。宣教師のポジティブな考え方や、人をほめたり、愛や感謝を言葉にしたりする習慣に惹かれたからです。また、あえて家族も友達もない環境に身を置くことで「中途半端な自分の性格を変えたい」という思いもありました。

Challenge [チャレンジ] 進学先で挑戦したこと

進学先は熊本県の海外チャレンジ塾の担当者にアドバイスをいただきながら、決定しました。また、学校の先生からも奨学金の申請を案内してもらうなど、比較的スムーズに手続きを進めることができました。

最初に入学したのは公立の2年制大学のハーキマー・カウンティ・コミュニティカレッジです。教授との距離が近

く、質問がしやすい雰囲気大きなメリット。学業に専念できたことで、成績優秀者名簿ティーンズリストに自分の名前が載り、自信につながりました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

いろいろな国の人の考え方やその背景に触れ、固定概念をあまり持たなくなったように思います。表面的なものではなく、その背景や事情なども考えながら物事を柔軟に促えられるようになりました。

また、海外進学は確実にキャリアの選択肢を広げてくれるはず。学校ではホテルマネジメントを学びましたが、海外生活の経験が評価され、ホテルのほか、不動産やIT企業での勤務の際には、未経験にもかかわらずいろいろなことに挑戦させてもらいました。現在は楽天グループ本社で人事を担当しています。今後も「これが正解」と決めつけずに、柔軟に自分の人生を歩いていきたいです。

Profile

・2015年 熊本第一高等学校卒業
・2019年 アメリカ ワシントン大学経済学部卒業、帰国
・2021年 平田機工株式会社入社



もっと知りたい！ 海外進学 Q&A



Q1 現地での経験で印象に残っていることは？

私は高校卒業後、海外生活の全てをシアトルで過ごしました。いろいろな人種が集まっている都市なので、留学生活を通して、台湾やシンガポール、タイ、香港などの文化や言語、考え方を学びました。

アメリカでは、運動施設が充実しているので、日常的に運動をしていました。休みの日には湖でSUPやハイクをして自然を楽しみました。

Q2 どのような授業を受けましたか？

専攻のビジネスの他にも建築や茶道、日本政治など、自分の興味のあるクラスを受けました。特に日本政治の授業では日本とは異なる観点で授業を受け、他のクラスメートの意見も知ることができて新鮮でした。また、地元企業であるアマゾンやマイクロソフトで実際に活躍している方たちに指導してもらう機会もあり、いい刺激を受けました。



英語力を活かして
日本と海外つなぐ
架け橋に！

ワシントン大学の卒業式にて



4月には桜が咲きたくさんの人が訪れるワシントン大学の広場



フリスビーの練習後にみんなでアイスクリームを堪能（前列右端）



スピーキング向上のため、高校生の時に経験した熊本駅の街案内ボランティア。海外の人と積極的に交流しました(左)



先輩へのメッセージ

挑戦したい気持ちを重視して

留学はさまざまな形がありますが、挑戦し外を見ることは大きな気付きや成長につながると思います。ぜひ挑戦したいという気持ちを大切にもらいたいです。大変なこともあると思いますが、目標に向かっていろんなことにアンテナを張りながらたくさん挑戦してほしいです。先輩の皆さんの活躍を心から応援しています！

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

高校2年生の時、研修で初めてオーストラリアを訪れました。カルチャーショックを受けましたが、自分の知らない世界や考え方をもっと知りたい、英語で学びたいと思ったこと、また学びながら専攻を選べる海外のシステムに惹かれたことから、海外進学を決意しました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

TOEFLやエッセイの添削、スピーキング対策は熊本県の海外チャレンジ塾のほか、学校のALTの先生にもサポートしてもらいました。進学先決定の際に参考にしたのは同塾の先輩の話。進学準備は周りに情報がなくて先輩などから情報収集をして試行錯誤しながら進めました。アメリカでは語学学校、短期大学、4年制大学と編入し、そのたびに英語力が問われてテストに苦労しましたが、授

業の中で読み書きを特訓し対応しました。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

学んだのは、人や国、環境によって考え方や価値観が違うということです。アメリカの文化や違いを知ることは、日本の素晴らしさや自分を知り、理解する機会になりました。留学中に会った全ての人は、今の自分の考え方に影響を与えています。その中で「日本と海外をつなぐ」が私のキーワードとなり、ミッションとなりました。特に日本の素晴らしい技術を広めたいと、現在は地元の平田機工で営業として働いています。仕事内容は見積もり業務をはじめ、エンジニアとお客さまの間に立ちプロジェクトを進めていくこと。80%以上が海外のクライアントで、身に付けた英語が役立っています。今は支社のあるテロイトと熊本を行き来する日々です。熊本にいても海外と地元をつなぐ仕事ができていることを誇りに思います。

Profile

- ・2015年 熊本学園大学付属高等学校卒業
- ・2019年 アメリカ 州立モンタナ大学森林保全学部資源保全学科卒業、帰国
- ・2020年 環境省入省



アメリカの大学で
国立公園の管理を学び
日本の自然保護の仕事へ



奄美群島国立公園管理事務所、国立公園の管理や世界自然遺産地域の保全を担当(左)

Chance (チャンス) 海外進学のかきかけ

子どもの頃から外国の文化や英語で話すことに興味があり、いつかは留学したいと考えていました。転機が訪れたのは高校3年生の時。熊本県の海外進学説明会で熊本・モンタナ奨学制度のこと、そして対象の大学である州立モンタナ大学で自分の興味のある分野を詳しく学べることを知り、海外に進学することを決めました。

Challenge (チャレンジ) 進学に向けて頑張ったこと

海外進学を決めてから、大学での授業で使う単語(数学の単語や元素の名称など)の勉強を中心に行いました。高校では、英語の先生にお願いして、エッセイの添削してもらい、ALTの先生と週に一度お昼ご飯を一緒に食べて、英語で会話する練習をしました。また、ピザなどの手続き書類は事前に手順をしっかり確認し、書類がそろい次第

すぐ手続きを進められるように準備しました。

Change (チェンジ) 海外進学を機に変わったこと

大学では、英語でさまざまなバックグラウンドを持つ人々と話す機会が多くあります。知らなかった文化や多様な考え方に触れ、認め合う大切さを体感しました。そして、日々のコミュニケーションの中で、個性や違いを受け入れられるようになりました。また、授業も含め多様な考えの中で意見を持つことや発言することが求められるので、人前で自分の考えを表現する力も鍛えられました。

卒業後は、日本で国立公園に関わる仕事がしたいと考え、環境省の仕事に就きました。留学中の長期休みに友人とアメリカの国立公園を巡ったほか、授業で国立公園の管理について勉強したことがきっかけです。アメリカの自然保護の在り方は日本とは大きく違うので、現地で学んだことを今後の仕事に活かしていきたいです。

もっと知りたい! 海外進学 Q&A



Q1 実際に海外進学をしての感想は?

学業面では毎日勉強漬けでしたが、充実した日々を過ごせました。アメリカの大学は選択できる授業の幅が広く、マイナー(副専攻)を取得できるため、自分の興味を深められます。3年目以降はアルバイトやインターンシップをしてより忙しくなりましたが、毎日会話することで英語力がさらに上がり、友達も増えました。

Q2 どのように生活していましたか。

最初の1年は寮に、2年目以降はアパートに住んでいました。最初は食事が合いませんでしたが、アパートに住んで自炊をするようになってからは、時々、日本食を作っていました。しばらくすると何でもおいしく感じるようになりました。アメリカの田舎町に住んでいましたが、小さいながらもお店がたくさんあり、元々田舎が好きだったこともあって、生活面で苦労することはありませんでした。



大学から車で30分ほどの場所にあるスキー場でスノボを体験(右)



同じ研究室の友人との思い出の一枚(右から2番目)

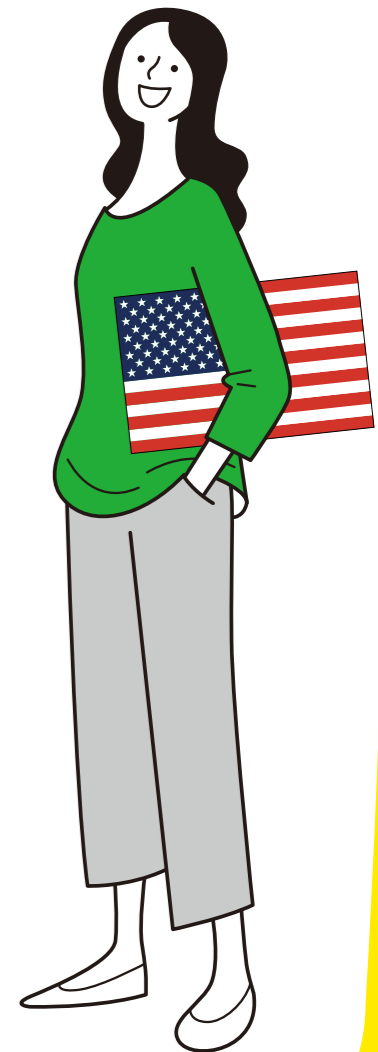


小型飛行機で森林火災の煙の調査へ

先輩へのメッセージ

思い切ってチャレンジしよう

家族や友達から遠く離れ、全てが自己責任となる環境で4年間過ごすのは勇気がいると思います。語学や学校の勉強はもちろん大変ですが、アメリカの大学は先生や職員によるサポート体制が整っていますし、授業の中でも努力している姿はきちんと評価してもらえます。何より自分が憧れていた場所で興味がある内容を勉強するのは楽しい経験です。ぜひ、思い切ってチャレンジしてみてください!



Profile
 ・2016年 熊本高等学校卒業
 ・2020年 アメリカ マサチューセッツ工科大学電子工学部 卒業
 ・2021年 マサチューセッツ工科大学電子工学部修士課程 卒業、帰国
 マイクロメモリジャパン株式会社入社



研究者の夢に向けて
 専門性の高い大学へ
 回路設計の仕事に従事

マイクロメモリ
 ジャパンでの、在学中
 のインターンシップ

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

元々英語と科学が大好きでしたが、きっかけは熊本県の海外チャレンジ塾でした。そこで初めて、頑張れば自分でも海外の一流大学に進学できるかと思いました。また「将来、研究者になりたい」という夢にも重要なステップだと思い、海外進学を真剣に考え始めました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

本格的な準備は高校1年生の時にスタート。海外チャレンジ塾では、TOEFLとエッセイ対策に取り組みました。学校では、アメリカの大学進学希望者の基礎学力を測るテストであるSAT対策の個人指導や推薦状などを協力してもらいました。それらと学校での通常の勉強、学外での課外活動を同時にこなしていくのは大変でした。出願先は、外国人への奨学金の充実度、工学部のレベルの高さで選び、数校に絞

りました。合格校の中から進学先を選ぶ際は、1年生から研究に携われることと、校風に注目しました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

進学後は学術的に鍛えられたのはもちろん、自分のやりたいことを見つけられました。夢をかなえるために自分から動いたり、サポートしてくれる人を巻き込んだりする力が身に付きました。在学中の研究や実習を通して、興味が電子工学、特に電気材料と回路設計に絞られていきました。またインターンシップの経験から、自分は大学の研究よりも人の手に比較的すぐ届いて役に立つ企業での設計や開発の方がワクワクすることに気付き、修士課程修了後は、職務内容を最優先に日米で就活を行い、現在は日本で回路設計の仕事をしています。深い専門性を持つ先輩方からたくさん学びながら、自分のアイデアで回路実装もできる今の仕事にやりがいを感じています。

もっと知りたい！ 海外進学 Q&A

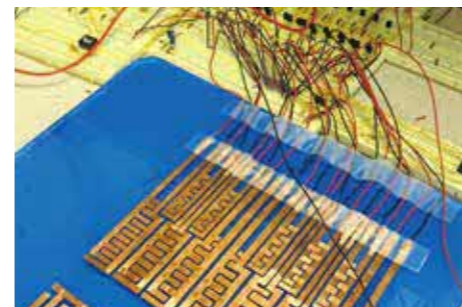


Q1 現地でどんなことを学びましたか？

学部1年生の時から研究に携わり、4年生の時に複数の著者で集まり、「超電導光子検出デバイス」をテーマとした論文(信頼性と品質を示す査読付き)を書きました。また、授業も面白いものばかりで、専攻の授業では実際に設計や製作を行う授業が興味深かったです。アナログ回路の授業では、二人組で自由な製作を行い、私は電子ピアノを作りました。また、SF文学と倫理についての授業や、フィギュアスケートの授業など、専攻以外にもユニークな授業を楽しめました。

Q2 プライベートではどのように過ごしましたか？

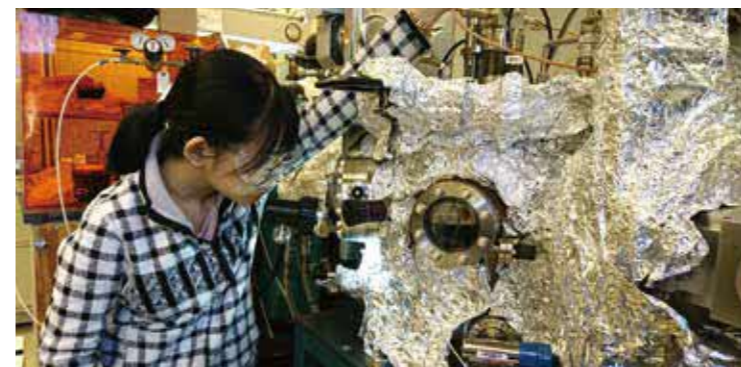
寮生活でたくさんの友人ができ、今でも連絡を取り合う親友もいます。週末はバレエや交響楽団鑑賞、美術館めぐりなど、たくさんの芸術にも触れることができました。



研究室での実験の様子



キャンパスでの卒業式



授業で製作したアナログ回路の電子ピアノ

後輩へのメッセージ

チャレンジする経験は今後の人生に生かせる

海外進学は費用の面でも準備の面でもハードルが高く、自分で考えて動き続けることが不可欠だし、正直大変なことが多いです。それでも、海外進学したいという明確な理由があればチャレンジしてほしいし、もしもそれが海外進学という結果につながらなくても、今後の人生でその努力は必ず自分の役に立つと思います。皆さんの幸運を願っています！



Profile

- ・2015年 文徳高等学校卒業
- ・2017年 アメリカ クインシー・カレッジ卒業、帰国
- ・2017年 ZIM:PROSHOP入社



もっと知りたい! 海外進学 Q&A



Q1 海外進学に向けて準備したことは?

英語力に自信が無かったので、高校でOC(オールコミュニケーション)を担当するカナダ出身の先生に、毎朝30分程度、英会話の練習をしてもらいました。大学入学の前に銀行の残高証明や予防接種証明などを英語形式で提出する必要があったものの、熊本には対応してもらえる機関が少なく、もっと早く準備に取りかけられると良かったと思います。

Q2 現地生活で印象に残っていることは?

入学後半年は、B型肝炎の予防接種を受けにボストンの大学病院に行ったり、家にWi-Fiを通すために契約社を訪ねたりとバタバタでした。私が過ごしたボストンは近代的な街並みと昔ながらの建物がたくさんあり、休日は散歩に出かけておいしいご飯を食べるのが楽しみでした。



海外で培った語学スキルを
ツーリズムビジネスに活かし
熊本のインバウンド強化をサポート

玉名にある蓮華院誕生寺奥之院でのツアーガイドの様子



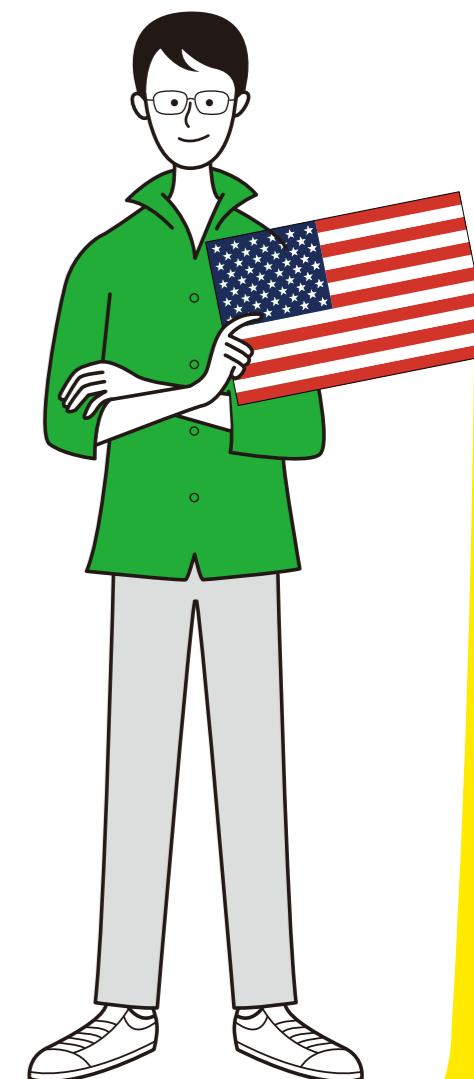
正面から見たクインシー・カレッジ。マネジメントやコミュニケーション、心理学など幅広い学部・学科があります



もちろんレポートも英語で作成。英語力が磨かれる大きな経験になりました



大学に食堂がなかったため、課題や友達とのグループワークでよく図書館を利用していました



先輩へのメッセージ

自分はできると信じて!

一度しかない人生で、海外進学を志すことは不安が大きく、大変な思いもするでしょう。でも、海外進学にはそれだけの価値があります。やり遂げたときに得られる達成感や自信は、何ものにも代えがたいものです。自分はできると信じて、広い世界で羽ばたいてください。

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

元々は高校を卒業したら就職するつもりでした。しかし、英語の勉強や洋楽、洋画などが好きだったことや、両親の勧めが後押しになり「今しかできないかもしれない」と、思い切って海外進学をすることにしました。

Challenge [チャレンジ] 進学先での新しい経験

クインシー・カレッジは6カ月を単位に、1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに履修登録から単位認定までを完結させる「セメスター制」です。卒業に必要な単位を取得するため、自分で事前に申請して講義を受けるのが新鮮でした。また、課題やプレゼンテーションが多く、予習や復習ではほぼ大学と家を行き来する毎日だったように思います。

住まいは、大学の近くでそれぞれ国籍が違う4人でルー

ムシェアをしました。お互いに自国の料理を作って食べたことは良い思い出です。国籍も価値観もさまざまな人たちと、英語でコミュニケーションを取る中で私の価値観も変化し、何事においても許容範囲が広がったように感じます。

Challenge [チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

帰国後、実家が経営する会社に就職。家業は英語を使う仕事ではありませんが、その傍ら「ラグビーワールドカップ2019」の熊本会場などで、海外の人を英語でガイドしたこともあり、海外進学の経験を活かしました。

現在、地元の玉名市からインバウンド強化のための通訳ガイドの依頼をいただいています。海外の大学に行った経験があるからこそ、今につながっていると感じます。今後は通訳ガイドの仕事の経験を積み、ツーリズム商品の販売を目指します。

Profile

- ・2019年 玉名高等学校卒業
- ・2023年 カナダ プリティッシュコロンビア大学 人文学部卒業 心理学科卒業
- ・2023年 カナダのメーカーに入社



やりたいことが明確に！
インターンの経験を積み
カナダのメーカーに就職

たくさんの思い出を胸に、4年間学んだUBCを卒業しました

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

高校1年の夏休みに、熊本県の海外チャレンジ塾で、海外大学生によるNPO団体「留学フェロシップ」の方々の体験談やキラキラした姿に感化されました。それをきっかけに海外大学への進学を視野に入れ始めました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

海外大学専願を決めたのが高校2年生の夏くらいで、そこから準備を始めました。海外チャレンジ塾のTOEFL対策レッスンを受けたり、学校のALTの先生にスピーキングの対策をしてもらったりしました。海外チャレンジ塾で出会った他校の友人とも励まし合いながら勉強しました。3年生の冬が一番忙しく、毎日のように英語でエッセイを書いたり、奨学金の申請準備をしたりしていました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

海外進学を通して自分の中で一番変わったことは、キャリア設計です。実は大学に合格し、カナダに渡った時点では自分のキャリアについてあまり深く考えず、「英会話が得意になれば日本でも就職しやすいだろう」くらいに思っていました。しかし、現地に出会った人々や参加したキャリアフォーラムなどから、カナダのワーク・ライフ・バランスを重視した働き方に魅力を感じ、カナダでの就職に向けて行動を開始しました。

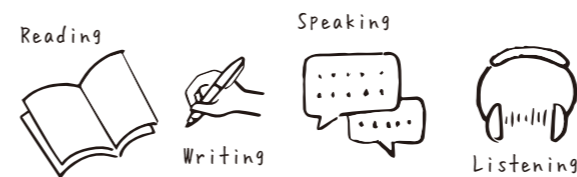
カナダは新卒一括採用はなく、即戦力にならないとインターンでも雇ってくれません。そのため学業の傍ら、無給のインターンなど自己研鑽を重ね、やりたいことを模索しました。大変な思いもしましたが、無事、在学中に就職先を見つけることができました。現在、ワーク・ライフ・バランスも実現し、楽しく働いています！

もっと知りたい！ 海外進学 Q&A



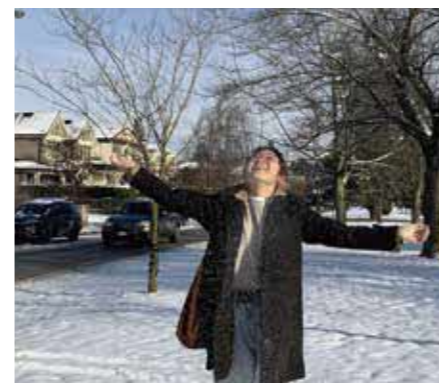
Q1 海外進学の準備で力を入れたことは？

一番苦労したことは限られた受験回数でTOEFLの目標点数を取ることです。これからの人は、できるだけ早めの受験をお勧めします！



Q2 大学生活を振り返っての感想は？

大学生活1年目は勉強についていくことに必死で、テスト前はよく泣きながら勉強していましたが、毎日新鮮で4年間の中で一番楽しかったです。2年生からはバイトを始めたり、大学のクラブ活動に参加したりして、より多くの人と出会い交流の輪を広げました。将来のことを考え始めた3年生の時は、クラブ活動で役職に就き、就職を意識するように。アップダウンも多くありましたがとても充実していました。



カナダの中でも温暖な気候のバンクーバー。しかし冬は、寒さが厳しい日も



大学の寮につながる道。広大な敷地の中に学生寮があり、そこで生活を送りました



美しいターコイズブルーが眼前に広がる「ガリバルディレイク」の一枚

後輩へのメッセージ

情報収集したら行動をするのみ

とにかく海外進学は情報戦です。どんな大学で、何を勉強したいのか、どこに行けば理想の教育を受けたり、経験を積んだりすることができるのか。教育レベル、治安、授業料、学問の専門性など、人によって大学に求めるものはさまざまです。とにかくいろいろ大学を調べて、志望校を絞りましょう。英語の勉強法、奨学金の情報もたくさんネット上に載っています。それらを見つければ後は行動するのみです！ 頑張れ～！



Profile
 ・2019年 宇土高等学校卒業
 ・2023年 ミネルバ大学(本部はアメリカ)
 コンピューターサイエンス学部/社会科学部卒業
 オランダ ライデン大学コンピューターサイエンス
 学部修士課程入学



4年間で世界各地に移住
 多くの学びを糧に
 研究活動にまい進

ミネルバ大学の卒業式で、ウクライナ、ナイジェリア、ブラジル出身の友人たちと記念撮影

Chance [チャンス] 海外進学のかっかけ

高校生の時、大学で学びたいことが明確でない中、熊本県の海外チャレンジ塾に参加。複数の専攻ができる海外大学の特徴や幅広い学問領域を横断的に学びリベラルアーツ教育を知り、興味を持ちました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

日本の大学を受験する高校の友人たちとは、受験勉強や出願のタイミングが異なるため、モチベーションを保つのに苦労しました。そんな中、海外チャレンジ塾で知合った他校生とのつながりが、大きな支えとなりました。また、日米大学併願や、海外進学を決意したのが遅かったこともあり、TOEFLやSATの受験機会がとても限られていました。どちらの試験も長時間でさまざまな問題形式がある特徴的なテストなので、慣れるためにも早めの段

階で、一度受験してみることを個人的にはお勧めします。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

ミネルバ大学の柔軟性の高いカリキュラムは、「研究者支援に携わりたい」という漠然とした目標に対して「自分ならどの分野から貢献できるか」を考えるきっかけを与えてくれました。大学1年次に統計学、特にデータを駆使して物事の原因と結果の関係を理解する因果推論に興味を持ち、そこから経済分野に特化した計量経済学も学びました。横断的な分野を探究していく中で、因果推論を学術研究活動に応用する科学計量学に出会い、最終的にはこの分野で卒業論文を執筆しました。現在はオランダの大学院で、科学計量学とサイエンスコミュニケーションを学んでいます。学びをアップデートしていく海外進学での経験は、私のキャリアの方向性を明確にしてくれました。

教えて！

海外進学先での生活



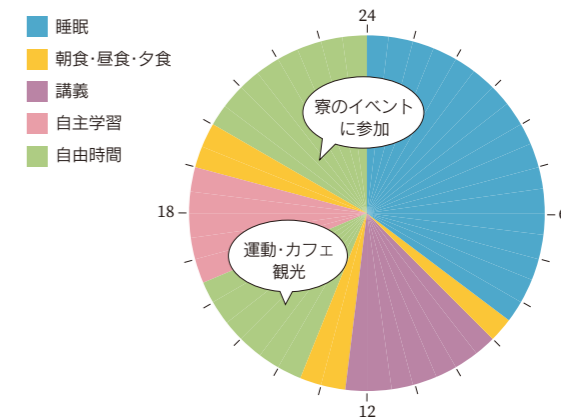
■「キャンパス」がない大学生活

ミネルバ大学は全寮制の私立総合大学で、学生は4年間で世界7都市に移り住みながらオンラインで授業を受講します。また、街がキャンパスというコンセプトのもと各都市にキャンパスはなく、学生は現地のレストランや図書館を利用したり、地元のスポーツチームに所属したりします。私も、アルゼンチンのブエノスアイレスに滞在していた時は、現地の社会人水泳チームに所属してスペイン語で水泳のレッスンを受けていました。言語の壁もありますが、練習や合宿を通してアルゼンチンの国民性や情勢、過去の歴史について多くを学ぶことができました。

■休日の過ごし方

台湾に滞在中は毎週末、友人と登山へ。イギリスでは、学生割引を使ってミュージカルやバレエを鑑賞したり、ミュージアムめぐりをしたりもしました。

ある日の1日



日本を紹介するイベントに参加した時の様子(後列真ん中)



大学創設者のベン・ネルソン氏と



先輩へのメッセージ

学生が大学を選ぶ権利もある

「何としても海外の大学に合格する!」という思いで、海外進学を志望していた当時の自分に伝えたいのは、「学生が大学を選ぶ権利もあるということ。ランキングや評判を基に志望校を決めるのではなく、「自分に合った教育や環境を提供してくれるか」「生徒のウェルビーイングを大切にしているか」などを、ぜひ考えてみてください。留学中につらいことがあった時に、自分なりの理由が心の支えになると思います。応援しています!

Profile
・2019年 熊本高等学校卒業
・2023年 アメリカ ジョージア工科大学建築学部卒業
ハーバード大学デザイン大学院建築修士課程入学



寝ても覚めても建築を考える日々
学科の優秀賞を受賞し
夢への一歩着々と

ジョージア工科大学の卒業式、自分の卒業作品の前で

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

元々バレエで世界を目指していましたが断念し、別の道でバレエ以上に頑張ろうと思い、海外進学を目指しました。益城町に住んでいる時に熊本地震で被災し、「住」の大切さを改めて実感すると共に建築分野に興味を持ち、建築学に力を入れているアメリカの大学で勉強をしたいと思いました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

海外進学の準備で苦労したのは、エッセイ作成や課外活動を通して「自分が将来やりたいこと」を考えることです。高校までバレエ一筋だったので、他の何かを考えたことがなく、自己分析にとにかく時間がかかりました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

アメリカは地域ごとに住む人の特色が大きく異なり、それによる大学のカラーの違いが面白いです。大学が提供する学問そのものは全国共通ですが、多様なバックグラウンドが教育のアプローチや重視される考え方に影響を与えています。ジョージア工科大学はアメリカ南部の社会課題解決に貢献することが教育方針の一つとなっています。この方針の下、アトランタでのフィールドワークを通して、政治的・経済的な観点からの建築を学びました。学部生活をアメリカ南部の公立大学(STEM教育*重視のジョージア工科大学)で過ごしたため、大学院は東部の私立大学(文芸的なハーバード大学デザイン大学院)に進学し、いろんな意味で「真逆の環境」で建築学を学んでいます。将来は、建築家になることに加え、大学教授として建築学の在り方を追究したいです。

*科学技術の発展に貢献できる人材を育てることが目的の教育モデル

教えて！

海外進学先での生活



■印象に残っていること

大学では建築の基本から設計の高度なスキルまで学び、ほぼ毎日スタジオにこもり、寝る間を惜しんで設計プロジェクトに励みました。

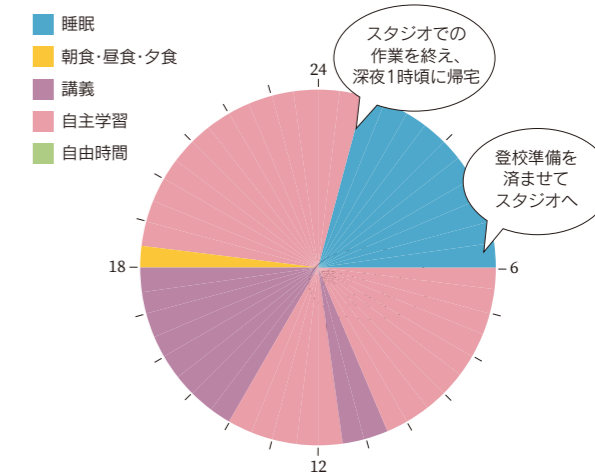
印象深いのは、数値流体力学解析を用いたウイルス感染症と換気システムの研究。それを設計プロジェクトに応用し、ジョージア工科大学でシニア設計最優秀賞を受賞しました。卒業時には建築学科の一番優秀な卒業生に授与されるLewis P. and Patricia Lanter Student Award for Design Excellenceを受賞しました。

■日頃、意識していること

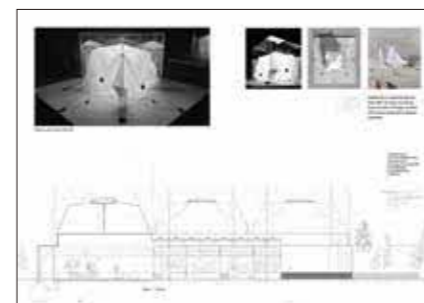
「将来どんな建築がしたいの?」と聞かれても「全部」以外の答えが出ないことが悩み…。建築分野は

答えを出すプロセスに時間がかかるので、日頃から建築について考えるくせを付け、パツと思いついたことを忘れないようにメモ帳を持ち歩いています。

ある日の1日



ハーバード大学のスタジオの様子



シニア設計最優秀賞プロジェクトの時の作品

先輩へのメッセージ

一生懸命になればチャンスは広がる

ジョージア工科大学で学んだことやアメリカの南部で生活したことは大変良い経験になりました。周りの環境や友人からたくさん刺激を受け、自分も負けないようしっかりと頑張った4年間でした。今はハーバード大学デザイン大学院でさらなる高みを目指して、日々建築に没頭しています。高校生の頃の私には想像もできなかったことでしょう。一生懸命になればチャンスはどんどん広がるので、頑張って夢を追いかけてください。





海外進学のポイント是自己分析
将来はデータサイエンスなどを活かし
金融関連の仕事を希望

友人とUCバークレー vs スタンフォードのフットボールの試合を観戦(左から4番目)

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

高校2年生の時、熊本県の海外チャレンジ塾で「海外進学を視野に入れてみてはどうか」とアドバイスいただいたことがきっかけです。それからいろいろ調べるうちに、海外大学生活が楽しそうだと感じ、また多くの選択肢がある海外大学が自分に合っているかもしれないと考えました。今となっては本当に良い選択をしたと感じています。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

高校2年生で海外進学を決め、少し遅めのスタートだったため、試験やエッセイの対策で苦労をしました。英語には自信があったものの、SATやSAT Subject Tests、TOEFLなどの準備にてこずったことも。締め切りギリギリまで取り組んだエッセイ作成は、自分がどのような人物なのか、何に興味を持っているのか、どのような学びがしたい

のかなど、自己分析をどれだけできるかが鍵になると思いました。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

スタンフォード大学に進学して、多くの優秀な友人と知り合いました。彼らに囲まれ、日々切磋琢磨する環境に身を置くことが、個人の成長にどれだけ重要であるか、大学生活を通じて感じています。

現在はデータサイエンスや最適化、コンピューターサイエンスなどを学び、最近では企業の資金調達や年金基金の運用戦略の高度化などに興味があります。将来はデータ分析を活用した金融関連の仕事に進みたいです。

大学は人生における一つのスタート地点であり、単なる分岐点に過ぎません。以前は安定を重視するタイプでしたが、最近では絶えず学び成長できるような、変化を恐れない自分でいたいと強く感じています。

教えて！

海外進学先での生活



■ 休日の過ごし方

友人とカフェに行ったり勉強をしたり、ご飯を食べに行ったりして、ゆったりと過ごしています。長期休暇の際には、友人とロサンゼルスやバンコク、メキシコなど、いろいろな地域に旅行しました。また、夏休みはインターンシップやリサーチなどをして過ごしています。

■ 留学生の生活環境

留学生は学部生の10%以下ですが、それでも留学生へのサポートは充実しています。学部生は基本的に全員が寮に住んでいて、大学の食堂を利用します。キャンパスもとても広くきれいで、すごく満足しています！

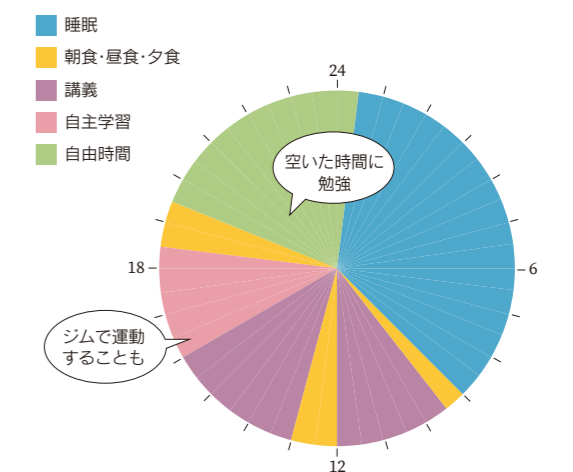


スタンフォード大学は全米有数の大規模なキャンパスです

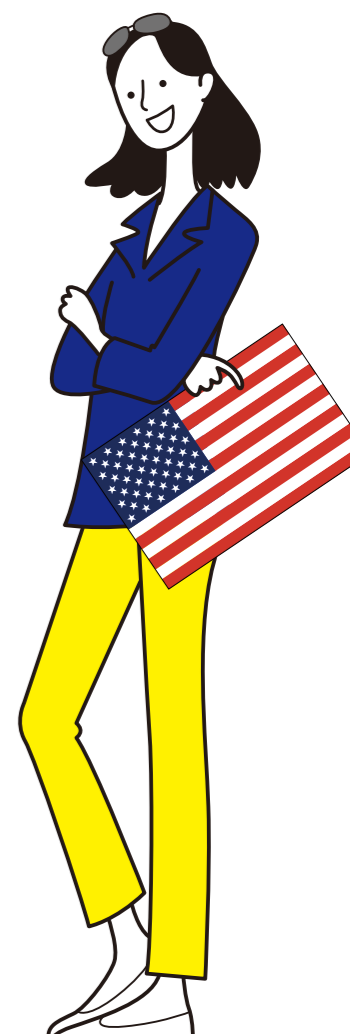


カリフォルニア州の伝統に従いスペインコロニアル様式で統一されたキャンパス

ある日の1日



サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジの前で (真ん中)



先輩へのメッセージ

全ての経験に無駄はない

海外大学受験は正解のないパズルのようなものだと思います。だからこそ、自分の個性や価値観、頑張りをしっかりと見せる機会でもあります。好きなことを突き詰め、大学に自分のユニークさを見せることが重要だと思います。受験の過程で不安や疑問を感じる瞬間もあると思いますが、全ての経験は絶対に無駄ではないので、自信を持って頑張ってください！

Profile
・2020年 玉名高等学校卒業
カナダ トロント大学応用科学工学部
材料工学科入学



実践的な教育や
長期インターンシップなど
授業の質の高さを実感

2022年にトロント大学で開催されたカナダ材料科学学会での一コマ

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

高校1年生の時、交換留学したのをきっかけに、世界各国から集まる学生と交流を深め「ネットワークを広げたい」という思いが芽生えました。それから海外進学について調べる中で、海外の大学では実践的な教育や長期インターンシップを経験できることを知り、海外進学への思いが高まりました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

海外大学を受験するにあたり最も苦労したことは、英語力の向上です。TOEFLは高校1年生の時から受験を開始しましたが、スピーキングとライティングの点数が思うように伸びず、アウトプットの訓練を重点的に取り組みました。また、海外大学への出願には担任の先生や各教科の先生に推薦状を依頼する必要があり、準備にはかな

りの時間を要することを痛感しました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

海外大学での学びを深める中で感じたことは、実践的な教育の質の高さです。私が所属する材料工学科では、実際に企業が活用しているCADやFEA(有限要素法)といったソフトウェアを授業に取り入れています。特に大学教育の総仕上げとして4年次に取り組む「capstone」と呼ばれる最終プログラムでは、企業が実際に抱えるビジネス課題と向き合い、企業の方々と協働しながら解決に近づくための方法を探ります。

私は、大学での学びを通じて、世界には解決しなければならない課題が数多く残っていることを実感しました。これらの課題を解決するためにも、今後は大学院に進学し、材料科学に関する専門性を高めたいと考えています。

教えて!

海外進学先での生活



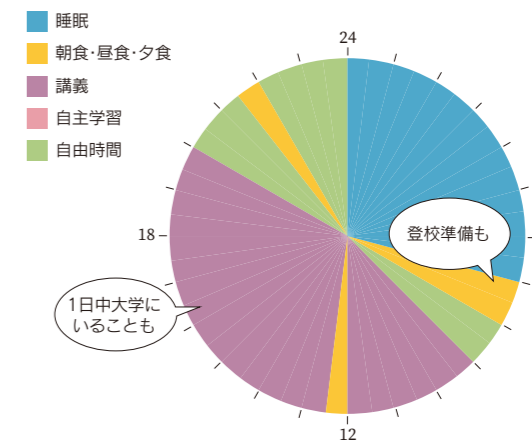
留学生の生活環境

私の住んでいるトロントには留学生が多いため、留学生サポートセンターやアカデミックアドバイザーなど留学生専用のサポートシステムが整っています。また、トロントは家賃がとても高いので、寮を選択している人が多いです。

休日の過ごし方

休日は午前中に1~2週間分の食材を近くのスーパーまで買い出しに行ったり、一週間でたまった洗濯物を片付けたりしています。全ての家事が終わったら、トロントのダウンタウンまで散歩をするなど自由な時間を過ごしています。

ある日の1日



居住アパート近くの公園にある「Toronto dog fountain (犬の噴水)」



授業を受けている「Bahen Centre」という名前の建物

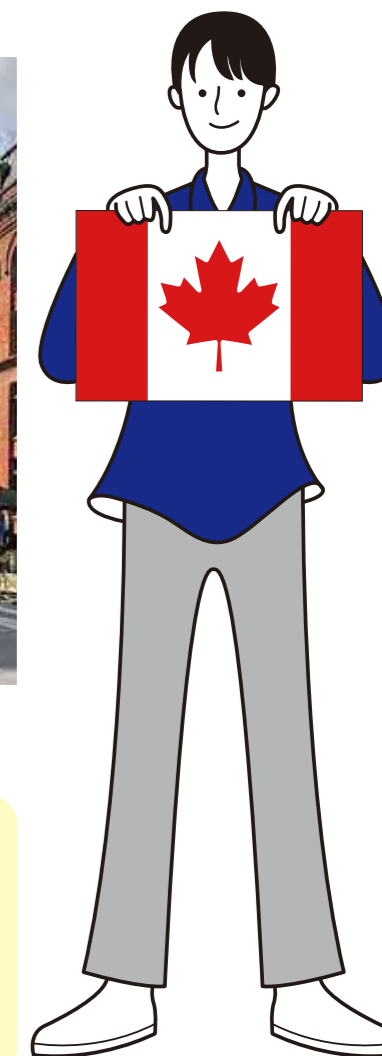


トロントの街並み

先輩へのメッセージ

海外進学を通して見聞を広めて

海外の大学には、日本の大学にはないユニークな教科や、長期インターンシップのような実践的な教育を受けられる機会がたくさんあります。また、多様なバックグラウンドを持つ人と交流を深められるので、見聞も広がります。進路を国内だけに絞るのではなく、海外の大学も候補の一つとして検討してみてもいいかもしれません。



Profile

- ・2021年 専修大学熊本玉名高等学校卒業
オーストラリア 職業訓練校TAFEの付属語学
学校(オンライン)「English Language Centre」
一般英語コース、進学英語コース修了
- ・2022年 TAFEイベントマネジメントコース修了
- ・2023年 キャンベラ大学ツーリズム& イベントマネジ
メント学士コース編入



思い描いた留学生生活をエンジョイ
将来は学校と職場で学んだ
観光イベント業の面から社会貢献

友人と旅行にいった
ケアンズにて

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

私が海外進学を選んだ理由は、コミュニケーション
ツールとして生きた英語を学びたかったからです。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

高校時代はコロナ禍で海外に行けるような情勢ではな
く、海外進学するべきか、かなり悩みました。最終的には、
高校1年生から3年間参加した熊本県の海外チャレンジ塾
での出会いや学び、サポート環境も海外進学を決める後押
しとなり、海外進学を決意しました。留学プランは海外
チャレンジ塾の先生や民間の海外留学センターのカウン
セラー、学校の先生、親とも相談した上で既に決めていた
ので、海外進学決定後は大きな問題もなく物事が進んだと
記憶しています。

TAFEの「English Language Centre」でイベントマネジメ

ントコースを修了し、単位を取得できたことで、キャンベ
ラ大学のツーリズム& イベントマネジメントの学士コー
スに編入しました。学校の課題は大変ですが、周囲の支え
もあって思い描いた留学生生活を送れています。

Chance [チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

アルバイト先のイベント観光業の職場では世界各国の
人たちと働いていて常に新しい発見ばかりです。1年間お
世話になったホームステイ先の家族も優しく、週末には
バーベキューを楽しんだり、映画やビーチに行ったりと
「これぞオージー(オーストラリア)！」といった生活を送
ることができました。

私の留学生活の中で一番幸運だと思うのは、人と環境
に恵まれたことです。これまで出会った方々への感謝の
気持ちを忘れず、将来はイベント観光業の面から社会貢
献できればと考えています。

教えて!

海外進学先での生活



留学生の生活環境

シドニーにはさまざまな国と地域から人が集
まっているので、学校も留学生への対応に慣れてい
る印象です。物価や家賃が高く、シェアハウスをし
ている人も多いようです。現在、学生ビザでは2週間
で48時間の労働が認められているため、ほとんどの
留学生が学びながら働いています。

休日の過ごし方

学校がない日はホテルの宴会部門のスタッフと
して働いています。シドニー市内でも大きなボール
ルームを持つホテル。結婚式の披露宴やガラディ
ナーをはじめ、展示会や会議などさまざまなイベン
トが行われ、学校での学びを実践できる、いい経験



働いているホテルの披露宴会場の様子



私が大好きなシドニーの風景



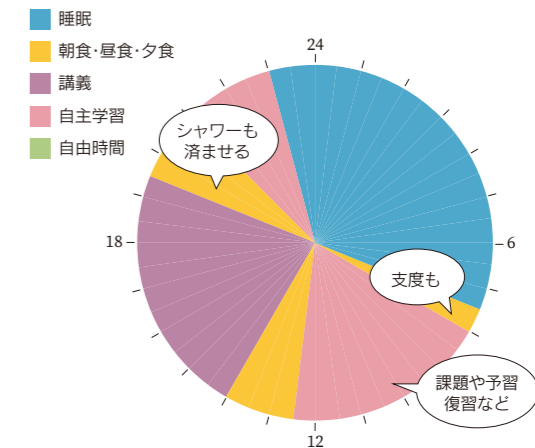
会
社
の
ス
タ
フ
と
の
パ
ー
ティ
で
仲
の
い
い
友
人
と
パ
チ
リ
(右)



休
み
の
日
に
友
達
と
よ
く
訪
れ
る
カ
フェ

の場になっています。学校も仕事も休みの場合は友
達とカフェやビーチに行くなどシドニーでの暮ら
しを満喫しています。

ある日の1日



先輩へのメッセージ

新たな一歩と出会いを大切に

私の留学生活は道半ばですが、自信を持って「今、充実した日々を過ごしている」と断
言できます。夢を実現できるかどうかは本人の行動力はもちろんのこと、周りのサポ
ートや環境も大切だと感じています。私の海外進出もそうですが、一歩踏み出すことで新
たな出会いやきっかけが生まれ、人生が変わることは誰にでもあるはず。だからこ
そ、その一歩と出会いを大切にしてほしいと思います。





充実したキャンパスライフ
多様性に富んだカナダは
やっと見つけた私の居場所

本山さんの誕生日
パーティーの様子
(右から4番目)

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

中学2年生の頃から熊本県の海外チャレンジ塾に参加し、海外大学に関する話を聞く機会が増えたことで海外進学を視野に入れるようになりました。海外の大学生との交流やTOEFL対策講座を受講するうちに、漠然とした海外大学への憧れが現実味を帯び、本格的に海外進学を目指すことにしました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

一番苦労したことは英語力の向上と大学の情報集め。放課後や休日はそのために多くの時間を費やしました。大学にはTOEFL iBTの点数を提出する必要があったため、毎週開講されるTOEFL対策講座に加え、ひたすら演習を繰り返して問題に慣れるようにしました。周囲には海外進学に精通した人がいなかったため、海外チャレンジ

塾の先生やプリティッシュコロンビア大学に進学した先輩方から助言をもらったり、大学のホームページから出願に必要な情報を自力で集めたりしながら、常に情報収集を意識して高校生活を送りました。

Chance [チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

日本では生きづらさを感じていた私ですが、多様性に富んだカナダに来たことで毎日楽しく大学生活を送っています。学内を歩けばさまざまな言語が聞こえてくるし、授業では右にカタール人、左に韓国人、教授がメキシコ人と多国籍な人々に囲まれ、グループディスカッションを行えば、まるで小さな国連です。

将来については未定ですが、現時点では外交官などの国際関係の仕事や編集関連の仕事に興味を持っています。これからインターンシップや大学での活動を通して、じっくり将来について考えていきたいと思っています。

教えて！

海外進学先での生活



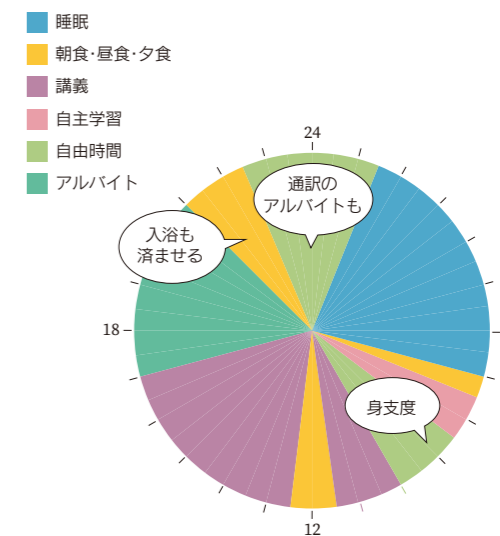
■ 留学生の生活環境

プリティッシュコロンビア大学は北米の中で最も国際的な大学なので、学生ビザやパスポートの有効期限を大学が定期的リマインドしてくれるなど留学生へのサポートが充実しています。大学1年生は大学寮に住む人の割合が多いですが、2・3年生からアパートメントに住む学生が多いです。

■ 休日の過ごし方

友人と食事やショッピングに出かける日もあれば、家で1日中ゆっくり過ごすこともあります。テスト前は朝から晩まで大学のキャンパスか自宅で勉強をします。長期休暇のときはカナダ国内やアメリカへ旅行に行くこともあります。

ある日の1日



U
B
C
サ
イ
ン
キャンパス内の至る所にある



キャンパス内の学習室で友人とテスト勉強をしている様子



キャンパス内。天気の良い日は池周辺で勉強する学生が多い



先輩へのメッセージ

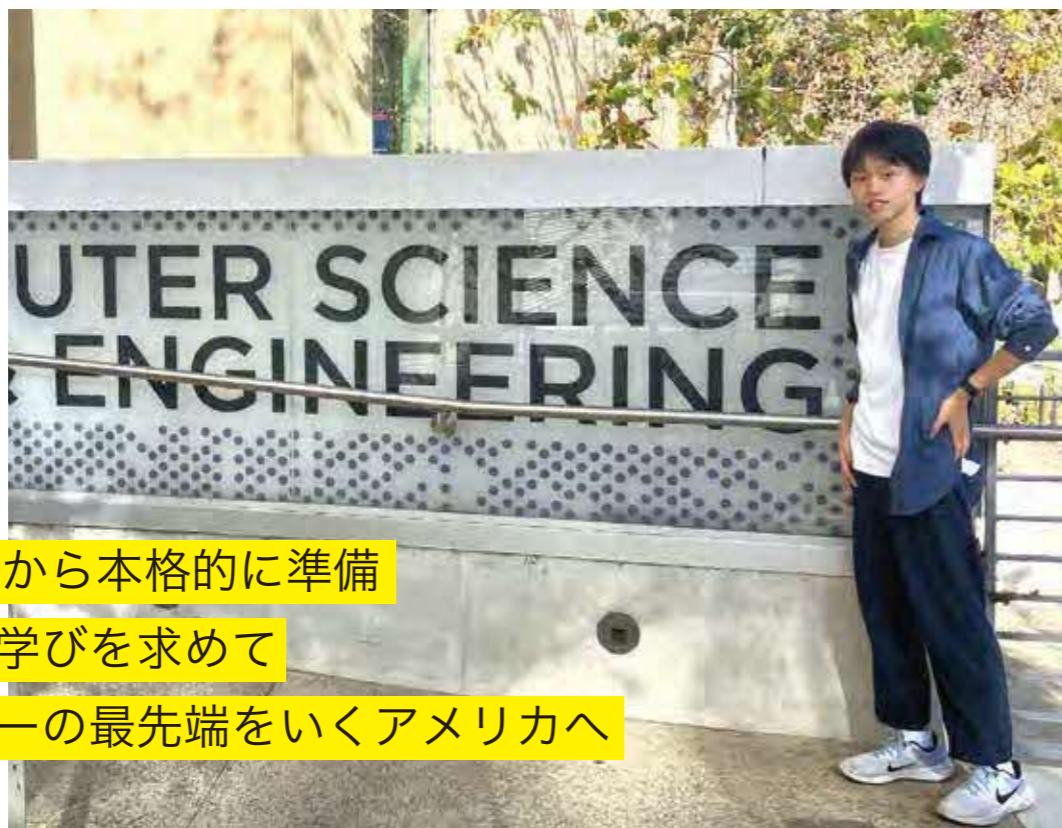
周囲の助けを借りて頑張る

皆さんが求めている大学、そして皆さんを求めている大学は日本の外にあるかもしれません。私はカナダで自分の居場所を見つけることができました。海外進学までの過程は大変ですが、困ったときには周囲に助けを求めながら、息抜きも忘れず頑張ってください。“Good things take time. Trust the process.” カナダから応援しています！

在 学 生
CASE 07

カリフォルニア大学
サンディエゴ校
YOSHINO TAIKI
吉野 泰生さん

Profile
・2022年 宇土高等学校卒業
アメリカ カリフォルニア大学サンディエゴ校
工学部コンピューターサイエンス学科入学



高校 2 年生から本格的に準備

自分が望む学びを求めて

テクノロジーの最先端をいくアメリカへ

Computer Science Buildingにて

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

私は高校時代にコロナ禍におけるオンライン教育を経験したことで、テクノロジーを用いて教育を支援するEdTech(エドテック)の分野に興味を持ち始めました。さらに高校在学中に東京大学の教育AIに関する研究プログラムに参加する中で、アメリカの研究の先進性や情報と計算の論理的基礎CS(コンピューターサイエンス)と教育学を組み合わせた独自のカリキュラムがあることを知り、海外進学を選択しました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

アメリカの大学入試では、学校の成績をはじめ、TOEFLなどのテスト、課外活動や受賞歴、エッセイ、推薦状など多くの項目が評価されるため、高校2年生の頃から本格的に準備を始めました。特に私はスピーキングが苦手だっ

たので、週1回のオンライン英会話に加え、高校のALTとスピーキングの練習を毎朝行っていました。また、アメリカでは近年学費が高騰しているため、奨学金を受けることも留学の必須条件でしたが、幸い柳井正財団の奨学金プログラムに合格し、また、県の海外大学進学給付金もいただき、海外進学の道が開けました。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

大学での学びは、絶えず新しい挑戦と発見の連続です。アメリカにおける多様なコミュニティや自発的な発言と行動を求められる環境は、人間的な成長とリーダーシップを磨く機会となっています。将来の目標は、EdTech研究者としてAI技術を活用し、学生一人一人に最適な学びを提供することです。アメリカでの学びと経験を生かし、次世代の子どもたちにとってより良い学びをつくりだすことに貢献したいと考えています。

教えて!

海外進学先での生活



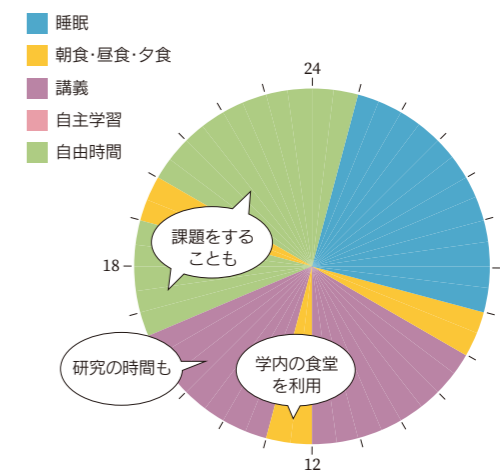
■ 留学生の生活環境

私の通っている大学は留学生の割合が高く、特に中国や韓国といったアジア系の学生が多いのが特徴です。また、アジアマーケットが近くにあるため、日本食が手に入りやすい環境なのもうれしいポイントです。

■ 休日の過ごし方

土日はプログラミング課題やグループ課題があるため、休日らしい休日はなかなか取れないことがほとんど。学期間の長期休暇の時は、バスケットボールのNBAや野球のメジャーリーグの観戦を楽しんでいます。

ある日の1日



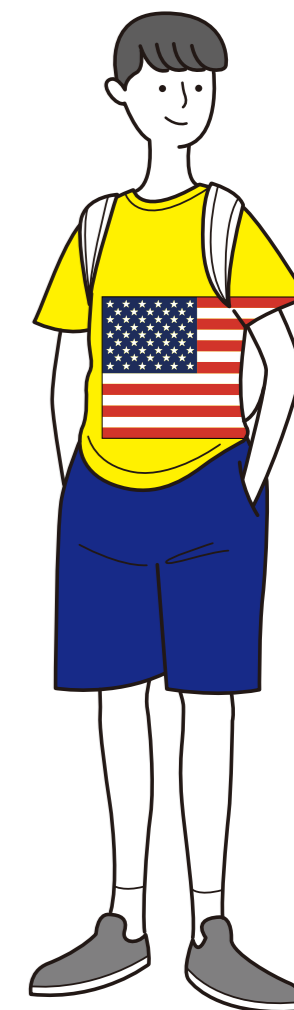
現地の高校 教育学のフィールドワークをした



授業の風景



長期休暇の時には NBA 観戦を楽しんでいます



先輩へのメッセージ

自分と向き合う時間を大切に

海外進学という選択肢には不明なことが多いため、不安や孤独を感じることも多いかもしれませんが、その中で自分と向き合い「自分は何が好きなのか」「何をしたいのか」「なぜしたいのか」などを考える時間と経験は、非常に価値のあるものだと思います。他人や先輩の真似ではなく、自分が納得できる選択肢について、多くの時間を使って考えてみてください。

Profile
・2022年 尚綱高等学校卒業
アメリカ バイラー大学航空科学学部
航空行政学科入学



航空先進国であるアメリカで
業界で活躍するための
知識や技術を習得

友達と「ターゲット」というお店に買い物に出かけた時の一コマ (左から2番目)

Chance [チャンス] 海外進学のかっかけ

私がアメリカへの海外進学を決めた理由は主に3つあります。①英語力の向上を目指す②日本では珍しい最先端の航空学を専攻できる③日本の外の世界を見てみたいーと考えたからです。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

高校では私が初めて海外進学にチャレンジする生徒だったので、先生方と一緒に手探りで出願準備をスタート。熊本県の海外チャレンジ塾では、自分の希望に沿った情報を得ることができ、一人での出願も安心して進めることができました。進学先は海外チャレンジ塾の先生方に相談したり、インターネットでさまざまな大学のホームページを読みあさったりして絞り込んでいきました。TOEFLのスコアが伸び悩んだ時期もありましたが、自分

好みの単語帳を使って空いた時間に暗記し、何度も受験することで目標スコアを取ることができました。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

海外に行って感じたことは、思っていたよりも文化の壁が大きいということです。アメリカは多民族・多国籍国家ですが、周りを見ているとバックグラウンドが似た人同士でよく集まっている印象で、私もアジア人とは友達になりやすい傾向にあります。また、自分から発信しないことには誰も助けてはくれません。好き、嫌いなど日本では言いにくいことでも、思い切ってはっきり意思表示することが大切です。

今一番の目標は大学を卒業することですが、卒業後は最大1年間までアメリカに滞在して専攻と同じ分野の仕事に就けるOPT(Optional Practical Training)という制度を活用して、航空分野の就労経験を積みたいと考えています。

教えて！

海外進学先での生活



■留学生の生活環境

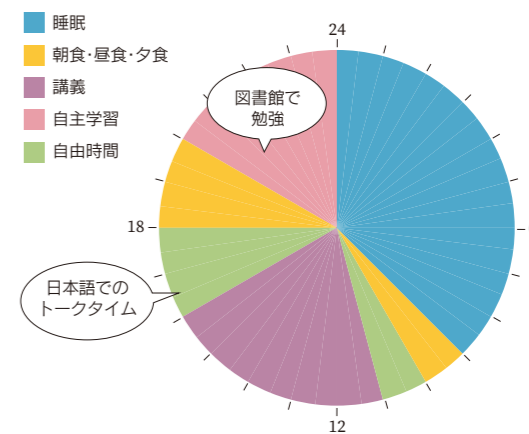
日本人留学生は少ないですが、日本人同士みんなで助け合って生活しています。何か困ったことがあれば、留学生向けのオフィスや日本人の教授に相談しています。また、ハロウィーンや季節のカボチャ彫りや、ホームカミングという文化祭のようなイベントでのパレードなどが楽しめる留学生向けのイベントが年に数回開催されます。

■休日の過ごし方

友達とリラックスした時間を過ごしています。時間がある時はダラスという大きな街に遠出をして、ショッピングをしたりアジア料理を楽しんだりし

ています。キャンパスに大きなスタジアムがあり、アメリカンフットボールの試合を観戦することもあります。

ある日の1日



大学でカヌー体験を楽しむことも



空港で操縦訓練をしている様子



大学の一大イベントでもあるアメリカンフットボールを観戦した時の様子



バイラー大学の主要校舎



先輩へのメッセージ

同じ目標を持った仲間との出会いを大事に

海外進学の道は仲間が多いわけでもなく、情報も少ないので苦労することも多いと思います。しかし、苦労した分、大学在学期間中の経験は何倍もの価値ある経験となって返ってくると思います。海外チャレンジ塾では、同じ目標を持った熊本の仲間と将来について共に考えることができるので、この機会を活用して目標に対して一歩ずつ近づいてほしいです。私も卒業生として、皆さんを応援しています！



夢の実現への第一歩 海外進学ロードマップ

「将来海外で働きたい」「海外の文化を体験したい」など、海外進学を希望する場合、どのようなステップが必要でしょうか。順を追って紹介します。

海外進学までのスケジュール

※アメリカ大学進学(秋入学)の一例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高1	情報収集・英語試験対策・課外活動											
高2	情報収集・英語試験対策・課外活動						英語試験受験、大学選定、(奨学金リサーチ)					
高3	奨学金	奨学金応募先決定	応募・出願準備開始 ・自己分析完了 ・TOEFL等英語スコア取得 ・課外活動結果や受賞歴	エッセイ等含む応募書類作成→応募→書類審査や面接→結果通知 *奨学金団体により時期や内容は異なる ・応募用紙 ・英語スコアや成績証明書 ・財政能力証明書 など								
	大学出願	大学選定		大学出願書類作成 ・エッセイ ・推薦状 ・成績証明書 その他出願に求められる書類	出願→合否→合格の場合入学手続き							
卒業後	渡航準備(ビザ等)			渡航・進学 ※国や大学により時期が異なる								

STEP 01 目的に合った進学スタイルを決めよう!

進学の種類はさまざま。まずは自分の目的を明確にして、留学スタイルを決めましょう。

目的 外国語で専門分野を学びたい

- ・日本の大学→交換留学
- ・海外の専門学校
- ・海外大学(学士号取得)

目的 海外で専門分野で学んで学位を取得したい

- ・海外大学(学士号取得)

豆知識・海外大学の種類 (一例)

自分に合った進学ルートを考えてよう!

コミュニティカレッジ・シティカレッジ

アメリカの2年制の大学。よりアカデミックな学問を学ぶ4年制大学(ユニバーシティ)に対し、学部教育や職業教育など、幅広く学べます。2年間単位を履修した後は、4年制大学へ編入することもできます。

TAFE/ポリテクニク

TAFEとは、オーストラリアの中等教育後の第3期の教育として、州政府が運営している職業訓練校。ニュージーランドのポリテクニクは、実務に職業資格の取得を目的とする高等教育機関です。

ファウンデーションコース

大学の専門的な授業レベルに応じた英語力、専攻分野の基礎知識などを身に付ける進学準備コース。イギリス・オーストラリア・ニュージーランドなどの大学で、約1年間のコースとして開講されています。

STEP 02 費用を調べよう

事前に現地の相場やかかる費用を調べておきましょう。

日本には、留学希望者向けのさまざまな奨学金制度もあります。事前に確認しておきましょう。

授業料1つとっても、出願する大学や専攻によって金額は大幅に変わります。アメリカの大学の授業料の例を挙げると①カリフォルニア州立コミュニティカレッジは約130~182万円②カリフォルニア州立大学は約580万円~(※)一。食費や生活費なども含めて事前に調べて予算を立てましょう。

※金額はあくまでも目安です。費用は為替レートUS\$145円で計算しています。レートの変動によって金額は大きく上下するため注意が必要です。

STEP 03 学校を選ぼう

学校を見つけるために大切な3つのポイントを紹介します。

①自分で情報収集しよう

興味のある大学について、公式のサイトなどから自分で情報収集しましょう。公式以外のサイトを参考にする際は、それが正しい情報かしっかり検証することも大切です。

②進学理由を明確にしよう

親や家族が言ったから、知名度があるからといった理由だけでなく、「自分のやりたいことができる大学か」を重視することが、ミスマッチを防ぐ上で大切です。

③ロールモデルを探そう

海外進学をする際に、自分のお手本となる人=ロールモデルを探し、その人の経験談を参考にすることもお勧めです。大学の公式サイトやSNSで先輩の記事や投稿を探すほか、本ロールモデル集もぜひ活用してください。

STEP 04 生活スタイルを決めよう

留学中の滞在スタイルもさまざま。自分に最適な滞在方法を検討しましょう。



~主な滞在スタイル~

◎ホームステイ

海外の生活習慣や文化などに触れたい人にお勧め。家族との関わりなどから生きた習慣、生活そのものも学習できる場です。



◎学生寮・レジデンス

寮には規則があり、多様な人種、宗教を持った人が集まります。一人一人を尊重して協力しながら生活することが大切です。



◎ルームシェア

友達とシェアするほか、自炊生活ができれば経済的! 外国人のシェアメイトを見つければ、言葉の勉強にもつながります。

早めの準備が大切です。

STEP 05 出願準備をしよう

志望大学が決まったら、出願締め切りと提出書類を確認しましょう。提出書類として要求されること多い英語スコアやエッセイ執筆、推薦状などの準備には時間がかかります。早めに用意しておくことで安心です。これらは自分で行うほか、民間の海外留学相談を利用するのも1つの手です。

熊本県「海外チャレンジ塾」を開催

熊本県では、海外大学への進学、留学を目指す高校生等を応援するため、海外進学に必要な学びの支援や留学・進学資金の給付等の総合的な支援を行っています。その一つとして実施しているのが「海外チャレンジ塾」。平成25年からスタートし、塾卒業生はアメリカ、カナダ、オーストラリアをはじめ、台湾やヨーロッパ各国の大学に進学して夢の実現を果たしています。募集の際は県のホームページなどで案内します。ぜひご確認を!



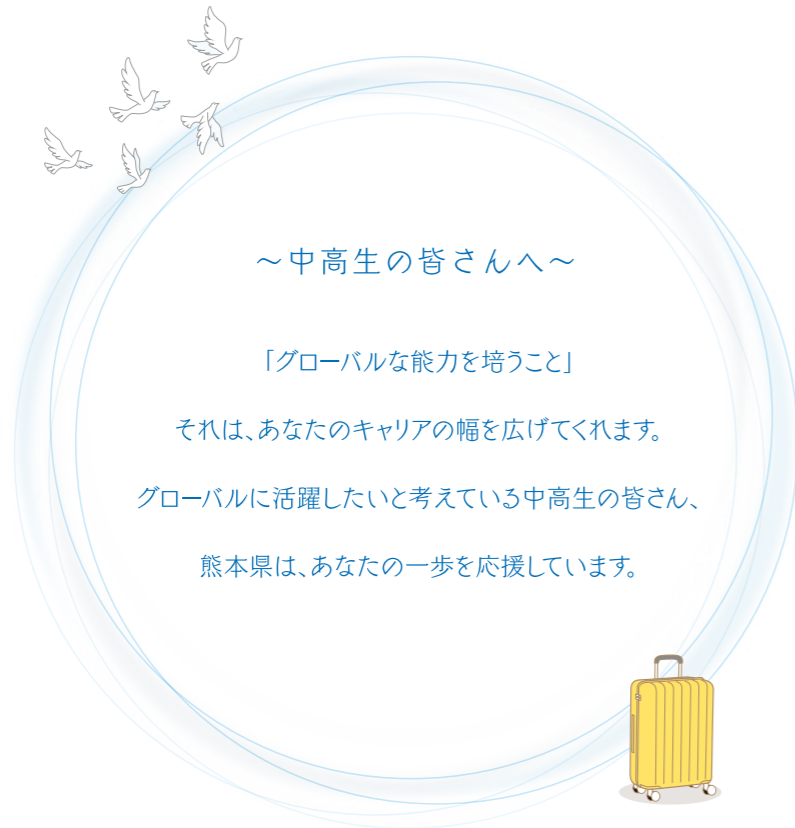
STEP 06 渡航準備をしよう

進学先が決まったら、滞在先の航空券を手配し、保険やビザの手配をしましょう。

現地での生活をイメージしながら必要な物も準備しましょう。



取材協力: 留学サポート熊本(株式会社SAS)



～中高生の皆さんへ～

「グローバルな能力を培うこと」

それは、あなたのキャリアの幅を広げてくれます。

グローバルに活躍したいと考えている中高生の皆さん、

熊本県は、あなたの一歩を応援しています。

グローバル人材インタビュー動画配信中

海外進学を経験し、グローバルに働く先輩のインタビュー動画です。
令和6年11月末まで配信中。
動画は右の二次元コードへ！



ロールモデル集はHPでも確認できます！

発行/熊本県総務部 総務私学局 私学振興課
TEL:096-333-2062 FAX:096-384-6552

